

第 16 回(令和 7 年度)助成研究成果表彰 受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度は応募資格のある 83 名のうち 11 名より応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、5 月 27 日開催の第 66 回通常理事会において、3 賞の受賞者が決定しました。

なお、表彰式・受賞記念講演会は、別途開催する予定です。

① 理事長賞

賞の性格：環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。

氏名	本多 了	所属	金沢大学理工研究域地球社会基盤学系・教授
助成研究期間	3 年間：令和 3 年 11 月～令和 6 年 10 月		
研究テーマ	微生物カプセル MBR 法による PFAS 汚染水処理プロセスの開発		
研究成果	氏は、微生物カプセル法による PFAS 汚染水処理プロセスを開発するとともに、PFOS 代謝経路についても検討しており、革新的な成果をあげている。この研究成果は、大きな課題となりつつある PFAS 対策に寄与する社会的意義の大きい研究成果である。		

② 技術委員長賞

賞の性格：環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。

氏名	池盛 文数	所属	長崎大学総合生産科学域(環境科学系)・准教授
助成研究期間	2 年間：令和元年 11 月～令和 3 年 10 月		
研究テーマ	人為起源二次有機粒子の実態解明を目指した観測・解析手法の開発		
研究成果	氏は、行政が多く所有する測定装置のテープろ紙を利用する観察・解析手法を確立し、実サンプルを用いて人為起源二次生成有機粒子の実態解明を行っている。この研究成果は、光化学オキシダントの生成機構解明にもつながる環境行政への貢献も期待できる研究成果である。		

③ 鉄鋼技術賞

賞の性格：鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。

氏名	増田 秀樹	所属	鈴鹿医療科学大学・客員教授
助成研究期間	3 年間：平成 30 年 11 月～令和 3 年 10 月		
研究テーマ	炭酸ガスを捕捉し有用性物質へ変換する革新的触媒技術の創製		
研究成果	氏は、イオン液体特性を利用し電気化学的に CO ₂ からメタノール合成やエタノール変換への高効率変換に成功している。この研究成果は、鉄鋼業においても、将来の CCS/CCU 分野に大きく貢献することが期待され、今後のカーボンニュートラル実現に向けた重要な研究成果である。		

以上